学校番号	3025

令和８年度　国際文化科

教科	学国際文化科	科目	（学）中国語文化Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	標準高校中国語(白帝社)						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、生徒が主体となり、教師はアシスタントの授業形式を重視します。テキストに基づき、生徒たちが自らの生活に即した会話文を作り上げ、２、３人のグループで会話できるようにします。

さまざまな分野を扱った視聴覚教材、インターネットを利用し、生徒が興味関心を持って意欲的に学べるようにします。

定期テストだけでなく、発表や、ノート及び課題提出、復習の自己評価表提出等にも、意欲的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

基礎段階の言語使用者の語学力を養う。中国語の文化や、買い物、地元の地理、学校生活などの直接的関係がある領域に関して、学んでいる中国語で 簡単な質問ができ、理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

国際社会で日常会話より高度なコミュニケーションができる能力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

中国語の学習などを通して、外国語学習への興味を高めるとともに、豊かな国際感覚や確かな国際理解の基に、グローバルに問題を捉えて、表現しようとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて概ね活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを概ね理解したり、これらを活用して概ね表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	13～17課	中国語文化Ⅰの復習 ・挨拶表現 ・感謝、お詫びの表現	a: 文字を覚え、文法事項や,新語の意味の理解をもとに、 挨拶表現を聞き取る。 b: 挨拶表現の会話の内容を理解し、やり取りをする。 c: 自己紹介文を作り発表する。	定期考査（リスニング）	定期考査	プレゼンテーション
	18～21課	・進行形について ・主述述語文について	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 日常生活の会話の内容を理解し、やり取りをする。 c: 日常生活の会話の内容を理解し、やり取りをしようとする。	定期考査（リスニング）	定期考査	課題提出、暗唱テスト
2学期	22～25課	・副詞、助詞、助動詞を使った表現 ・連動文について	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 趣味や仕事のことに関する会話について理解し､やり取りをする。 c: 趣味や仕事のことに関する会話を作り、発表する。	定期考査（リスニング）	定期考査	プレゼンテーション
	26～29課	・程度補語について ・可能補語についてとそれを用いた表現	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 中国への旅行時の道の聴き方買い物や食事での会話の内容を理解し、やり取りをする。 c: 買い物や食事での会話の内容を理解し､やり取りをしようとする。	定期考査（リスニング）	定期考査	課題提出、暗唱テスト
3学期	30～32課	・結果補語について ・手紙を書く ・漢詩 中国の雑誌を読む。	a: 本課で学習する文法事項や,新語の意味の理解をもとに､会話文を聞き取る。 b: 日常生活での会話で場所や曜日の内容を理解し､やり取りをする。 c: 中国文化について、自分の好きなものの紹介文を作り､発表する。	小テスト（リスニング含む)	レポート	プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度